生化学検査実施の手引（2024 年度）

I. 注意事項

本調査試料は血清検体です。

POCT 機器に代表されるような、**全血検体を試料として測定する分析装置**

での参加は、**評価対象外**となります。

予めご確認の上、ご参加くださいますようお願い申し上げます。

II. 概要と試料の取り扱い

1. 試料一覧
   1） 試料 11：Q-116（凍結プール血清）
   2） 試料 13：Q-316（凍結プール血清）

2. 項目一覧

項目名	略語
1. グルコース	Glu
2. 総ビリルビン	T-BIL
3. 直接ビリルビン	D-BIL
4. ナトリウム	Na
5. カリウム	K
6. クロール	Cl
7. カルシウム	Ca
8. 無機リン	IP
9. 鉄	Fe
10. マグネシウム	Mg
11. 総蛋白	TP
12. アルブミン	Alb
13. 尿酸	UA
14. 尿素窒素	UN
15. クレアチニン	Cre
16. 総コレステロール	TC

項目名	略語
17. 中性脂肪	TG
18. HDL-コレステロール	HDL-C
19. LDL-コレステロール	LDL-C
20. C 反応性蛋白	CRP
21. アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ	AST
22. アラニンアミノトランスフェラーゼ	ALT
23. アルカリホスファターゼ	ALP
24. 乳酸デヒドロゲナーゼ	LD
25. アミラーゼ	AMY
26. クレアチンキナーゼ	CK
27. γ-グルタミルトランスフェラーゼ	GGT
28. コリンエステラーゼ	ChE

※ドライケミストリー法（富士、アークレイ、オーソ etc・・・）で参加される施設は、入力時の項目の選択に注意して下さい。測定原理が不明の場合はメーカーへお問い合わせください。

3. 試料取扱注意事項

1） 試料の取り扱いは感染の危険性があるものとし、患者検体と同様に十分注意してください。

2） 試料を受け取りましたら速やかに外観上の確認をお願いします。もし、試料に破損、溶血等が認められ測定データの信頼性に疑義が生じる場合は、連絡してください。

3） 試料測定前の準備

試料を溶解してから測定するまでの時間・保存温度は測定値に影響を与えます。試薬の準備、較正の準備、自施設で使用している管理血清の測定値確認等の分析準備を整えてから手際よく測定してください。

4） 試料の溶解方法及び取り扱いについて

① 凍結プール血清が入っているチューブの蓋を必ず増し締めする。

② パラフィルム等で蓋を覆う。

③ 水道水の流水中に 10～15 分置いて完全に溶解する。

④ 溶解後、泡立たないよう注意して 10 回転程度転倒混和する。

⑤ 内容が落ち着くまで室温で静置して直ちに測定する。

⑥ 測定までは、可能な限り遮光環境下で保存する。

※サンプルカップ等に分注しての放置は行わないようにしてください。

III. 問い合わせ先

臨床化学検査に関する不明な点、疑問点等についての問い合わせは、施設コード、施設名、担当者氏名を明記のうえメールにて下記担当者へお願い致します。お返事に時間がかかることがあります。時間に余裕を持ってお問い合わせください。

都城市郡医師会病院　臨床検査室
田中　康弘
Mail：meg_ryan0213@yahoo.co.jp